

中学部 数学「数えよう比べよう」



数の処理がいろいろできるようになりたい。
見通しが持ちにくいのはしんどい。
わかることはがんばる！楽しく学びたい！

生活に必要な数のイメージをもってほしい。
それぞれの力に応じて学んでほしい。
何かを操作することで学べたら…



① カルタ遊びをしよう

カルタ遊びをして、取った枚数やみんなの枚数の合計を数えました。
個別の課題に応じて、数唱をしたり、足し算をしたりしました。グラフで表して、量を比べる活動も行いました。

② ボーリングや輪投げをしよう

ボーリングや輪投げの得点を数えたり、計算で求めたりしました。より大きな数や項を扱いました。



おすすめポイント
ボーリングや輪投げは、難易度の調整がしやすく生徒の課題に合わせて点数や本数を変更するなどして楽しめました。

学習の流れ

『遊び・物の操作→数える・比べる』
という流れを繰り返したことにより、
見通しがもちやすくなり、
「次は何かな♪」と子どもたちが
楽しみにできるようになりました。

③ 紙コップタワーを作ろう

紙コップを使ってタワーを作る活動。200個近くの紙コップで、いろいろな積み方や並べ方を楽しみました。

子どもの反応



『コップかめんのちょうせんじょう』という5分程度の動画で導入。
見ている間、子どもたちの反応は今ひとつ・・・でしたが！紙コップを持った途端、すぐに活動を始めた子どもたち！動画の“説明力”を痛感しました。



紙コップおすすめポイント

積む・並べる・重ねるなど、いろいろな使い方ができます。
手先の不器用な生徒でも扱いやすいです。
同じ数でまとめたり、個数や量を見える形で比べたりもできます。

積み上げた紙コップの数を数えたり、合計個数を求めたり、高さを測って比べたりしました。

高さを測る際、ものさしの端が0になるように調整し、目盛りを大きく示しておく、子どもたちが自分で読み取りやすかったです。

